

あかね



令和5年10月27日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

今年もあと2か月

来週から11月、今年も残り2か月となります。11/20からは3年生の三者面談も始まり、進路の最終設定の時期を迎えます。先生方からは、「フォーサイトの活用で忘れ物が少なくなりました」との嬉しい声が聞かれる半面、「家庭での計画をなかなか立てられない生徒も多く困っています」との声も聴かれます。職員には、根気強く個別にご指導くださいとお願いしているところですが、受験生である3年生のみなさんは、きっと大丈夫であろうと思います。中学校最後の文化祭の準備もありますが、それと同時進行で家庭学習も充実させてください。時間は全ての人に平等に与えられていますが、それをどう使うかで人生は変わります。1, 2年生も3年生と同様に、次年度への準備期間には入ったとの意識で、帰りの会でフォーサイトに、帰ってからの学習時間を記入し、時間を大切にしましょう。



平和を誓う

先週の17日(火)から19日(木)の2泊3日、2年生の修学旅行(長崎・福岡)を実施しました。コロナ明けのマスクなし、黙食なしの旅となりましたが、コロナ禍の影響のためか、運転手不足で長崎のタクシー研修は、路面電車を使った自主研修となりました。途中、トラブルが発生した班もあったようですが、地元の方々の優しさで何とか乗り切れたようです。平和公園での平和集会では、代表の松尾さんが平和への誓いを立派に述べ、平和への祈りを込めた折り鶴を池上さんが献納しました。世界で戦争が起きている今だからこそ、原爆資料館や平和講話で学んだことを胸に刻んでほしいと思います。九州博物館や太宰府天満宮、歌劇ザ・レビュー、グリーンランドと楽しい思い出もできました。出発式で、修学旅行は訓練の場ではなく、中学校で1年半学んだ成果を発揮する場であり、3年生に向けた進級試験だと話しましたが、自分自身に合格点をあげられたでしょうか。あいさつの大切さや感謝の心、みんなが楽しく過ごすためにルールを守ることの必要性を学んだ今回の体験、来年度の北中のリーダーに成長するために、2年生の残りの生活に生かしてほしいものです。



職場に学ぶ

今月18日(水)、19日(木)の2日間、4年ぶりとなる3年生の職場体験学習を実施しました。コロナ禍で実施できない期間を経て、職場開拓からやり直さなければなりませんでした。地域の事業所の皆様のご協力により、何とか無事終了することができました。また、全ての生徒が地域で学ぶことができればよかったです。直前に感染症で受け入れが困難になった事業所もあり、数名は学校で学校主事の手伝いとなりました。3年部の職員からは、本校での活動も含め、全ての職場で一生懸命活動する様子が見られたと聞きました。働くとは、傍(はた)を楽にすること。社会の一員として働くことは、自分の役割を果たし、お互いに支え合うことです。私の亡き父が「職業に貴賤なし」と口にしていて思い出しました。「どんな仕事でも、一生懸命やれ」とのメッセージだったと思います。3年生にとって今回の体験活動は、働くことの意義を学び、将来を考えるよい機会になったのではないのでしょうか。



地域に学ぶ

19日(木)1年生の地域体験学習を実施しました。当初の計画は地域の職場見学でしたが、6クラスを受け入れる事業所が確保できないことと、来年度の修学旅行も市電を利用する自主研修になることから、鹿児島市で市電を使った街歩きと、私立高校(鹿児島高校、鹿児島城西高校、神村学園)見学に変更して行きました。電車の中でお年寄りに席を譲ったり、高校見学でもマナーよく行動したりと嬉しい報告も受け、この半年間の1年生の成長も感じられました。今回の体験学習が、2年の修学旅行や3年の進路設定につながっています。高校見学で感じたことを生かし、中学校卒業後の自分の居場所も常に考えながら、学びを深めてほしいと願います。来年度も同様の活動を考えていきます。



学年行事の学びと、日々の生活に生かそう。

1 日体験入学

先週末の20日(金)、来年度入学予定者の亀山小、可愛小、育英小の6年生と先生方を本校にお招きし、体験入学を実施しました。移動時は雨となりましたが、体育館で元気に活動できました。前半は、本校の目標と中学校で学ぶ教科の内容を説明し、後半は昨年度から始めた小学校主体の交流活動としました。

本校の学校教育目標は、「自律した生徒の育成」であり、中学校卒業の3年後を意識し、自分で考え、悩み、友だちと支え合いながら、自分の人生の第一歩を定め、目標を叶えることをお話ししました。しっかり前を向いて聞く姿や、トイレ休憩後に「あと3分で再開します」の声掛けに、遊ぶのをさっとやめて集合する姿に、各小学校での学びの成果を感じました。



後半の交流活動は、昨年度はコロナのために各教室に分かれての活動でしたが、今回は体育館で全員そろって実施することができました。担当校の可愛小学校の先生の指示に従いじゃんけん大会で盛り上がり、交流を深められたのではないのでしょうか。残り半年、各小学校のリーダーとして、自分のことだけでなく、周りのことも考えられる力を益々身に付け、大きく成長して本校へ入学する日を楽しみにしております。

2 年生国体観戦

感動の中、幕を閉じた「燃える感動がごしま国体」でしたが、本校2年生も14日(土)にサンアリーナせんだいで開催されたバスケットボール競技を観戦することができました。残念ながら鹿児島県チームを応援することは叶いませんでしたが、全国レベルの質の高いプレーに声援を送り、貴重な体験となりました。また、スムーズなバスの乗り降りは、修学旅行の事前研修にもなりました。貴重な機会を与えていただいたことに感謝いたします。



考えようSNS(その2)

全国的に自撮り写真の交換に端を発した脅迫被害が多発しています。

① 好きなアーティストの話題で意気投合した同じ歳のBさんと直接やりとりを

始めたAさん。やがて、誰にも言えない秘密も打ち明けられる仲になりました。

② 好きなアーティストと一緒に写るBさんの写真が届き、嫌われたくなくて自分の写真を返信した途端、写真付きで秘密をネットに拡散されたくなければ裸の写真を送れと脅されました。

話が盛り上がる相手はうれしい存在かもしれませんが、思惑があって近づいてきた人だったら、やり取りした内容が脅しのネタになることもあります。ですから、こんな被害な合わないために、次のことに気を付けましょう。

A 裸の画像は絶対に送らない

一度、ネット上に流出した画像は、全てを回収・削除することはできません。また、友だちなど(18歳未満)に裸の写真を送らせたり、裸の写真を他人に送信・転送したりすることは「犯罪」です。

B 情報の組み合わせに注意

フォロー相手や友達との会話で名前や学校名が知られてしまうと、顔写真1枚でも脅しのネタにされる可能性があります。ネットだけの知り合いに、秘密や内緒ごとを打ち明けるのはとても危険です。

C 深みにはまってしまいう前に

偽りの投稿ができるだけでなく、写真や動画の偽装もできる時代です。目に見える情報を簡単に信用してはダメ。一度送った情報は取り戻せないことを忘れずに。困ったら身近な大人に相談しましょう。

言葉巧みに近づく人を、見える情報だけで判別するのは不可能です。政府インターネットテレビでは、実際の事件を基にしたドラマ仕立ての動画を公開しています。悪意ある大人の巧妙な手口を、動画で疑似体験できますので、ぜひ参考にしてください。自撮り被害児童のほとんどは中高生です。仲良くなりたいと思わせて個人情報聞き出し、写真を送らせて脅す手口の一部始終を、じっくり考えながら視聴し、家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。(右QRコードからどうぞ)

(総務省 インターネットトラブル事例数より)

同性のステキな友達だと信じていたのに



学年に忘じた進路や学習について、親子で会話を